

「私たちに自信を与えようとしてくれた留学生の純粋な優しさに、私は何度も救われました。」  
～参加者の感想より～

### 「真の国際人」とは？

「真の国際人」の条件とは何でしょうか。今回は、「真の国際人の育成」を教育目標に掲げる横浜市の高校の事例をご紹介します。

世界で個の能力を活かすためには、自分の意見を持ち、積極的に発言し、行動する主体性が欠かせません。主体性を持つということは、**どんな場所でも「自信」を持ち、自分らしく生きていける**ということ。そこで「生徒の自信を育むこと」を目的とした留学生との協働学習プログラムを実施しました。

### LbE Quiz!

#### Question:

今回のメインテーマである

「自信」とは、取り組むことに対して、できる、できそうだと思う感覚のことを言います。

「自信」をつけるためには、**3つの要素が必要**とされています。では、以下の**3番目の要素**はなんですか？

1. 自己評価(自分に価値を感じているか)
2. 自己主張(自分を表現することで、自己肯定感を高められているか)
3. ？？

(答えは裏面に記載)

### 同じ課題を共有する仲間との共創

プログラムのテーマは「世界に広めたい持続可能なまちづくり」。長崎と別府(大分県)でのフィールドワークと振り返り、インタビュー活動などを通して得た学びをプレゼンテーションにまとめます。同世代の留学生たちとテーマについて一緒に考え、学ぶ4日間のプログラムです。

フィールドワークでは、留学生と街中を歩きながら「地域の魅力を活かした景観・街づくり」がどのように行われているかオリジナルの評価シートを用いて調査しました。

評価項目例:『街中の多言語化がどれくらい進んでいるかチェックしよう。長崎市内は日本語を理解しない人にもユーザー・フレンドリーな環境であると言えるだろうか?』

振り返り活動では、「持続可能な街づくり」の到達度や課題について、長崎と別府、そして参加者の地元と留学生の母国を比較しながら意見を交わしました。留学生とは「教える、教わる」の関係ではなく、**同じ課題を共有する仲間として共創し、課題解決のアイデアを探ります**。

以下は、参加者のコメントの一部です。

『知的好奇心をくすぐられる内容ばかりでした。日本についてまだまだ知らないことがあると気付かされました。むしろ違う文化を知っているからこそ見えることがあるということを学びました。この経験を地元を持ち帰って、今すぐ使いたいと思える、力になるプログラムでした。』

「留学生とは異なる価値観だからこそ、さまざまな視点から助け合える。」そんな実感を伴う、参加者の言葉だと思います。

## 自信を固め、やがて真の国際人へ

フィールドワークの成果は、グループプレゼンテーションとして発表します。テーマを変えて、合計3回のプレゼンテーションを行いました。回を重ねるごとに、参加者たちが自信をつけ、表情や表現も豊かになり、堂々と発表を楽しむ様子が見受けられました。また、日を迫うごとに留学生との距離も近くなり、休憩時間に留学生に質問したり、談笑したりする様子も多く見られるようになりました。このプログラムを通して、どんな場所でも「自信」を持ち、自分らしくあるという主体性を高めることができましたようです。

以下は、参加者コメントの一部です。

『海外の人は基本的に自分の意見をしっかり主張するが、日本人は自分の意見を相手に合わせてしまうことが多い。また興味を持ったことを気軽に質問してくれるので、英語が難しくても簡単な会話をしているだけで距離を縮めることができた。』

### LbE Quiz! 答え

#### 「行動」

精神科医フレデリック・ファンジェによると、「行動」することで結果が生まれ、それが好循環することで、自信につながるそうです。

LbE Japan では、参加者の積極的な行動を促し、生徒の自信を高める機会の創出に挑戦し続けます。



『行動しないと疑いと恐れが生まれる。行動は自信と勇気を生み出す。恐れを克服したいのなら、ぐずぐず考えてはいけない。すぐに行動すべきだ。』

これは、世界的ベストセラーとなった自己啓発本「人を動かす」の著者である、デール・カーネギーの言葉です。

私たちのプログラムを通じた留学生との出会いが、参加者が一歩踏み出す勇気を後押しする。そんな支援ができることを願います。そして、自信は行動の先にあるという思いから、参加者に行動のきっかけを提供することを通して、私たちはこれからも世界に羽ばたく「真の国際人の育成」に寄与して参ります。

この度は Newsletter 第 20 号を手にとりいただき、誠にありがとうございました。

これからも、日々増え続けている「学びの場面」の事例をピックアップしてご紹介させていただきます。

株式会社 LbE Japan (エルビージャパン) <http://www.lbejapan.co.jp> [info@lbejapan.co.jp](mailto:info@lbejapan.co.jp)